

平成19年度 区民利用施設の管理運営に係る事業計画書

施設名： 野毛地区センター

指定管理者： 中区区民利用施設協会

館長名： 平野 祥三

1 施設の管理運営に対する基本的考え方

「地域住民が、自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、及びスポーツ、レクレーション、クラブ活動を通じて相互の交流を深める場としての地区センターを運営すること。」横浜市地区センター条例ではこの設置目的が示されています。野毛地区センターはこの設置目的を達成するため、中区区民利用施設協会及び他館と共に地域の中核施設であるという認識を持って次のことを基本として管理運営していきます。

- (ア) 誰もが利用しやすく、親しまれる地区センターであること。
- (イ) 利用者の安全・安心が確保された地区センターであること。
- (ウ) 利用者のニーズを把握し、利用率向上による収入確保を図ること。
- (エ) 適確な維持・管理を行い、効率的な運営で経費の削減に努めること。

2. 地域ニーズや利用者ニーズの把握と、運営への反映の考え方

(1) 地域との連携に関する計画について

ア. 市の中心市街地に位置する地区センターである野毛地区センターの役割は、町内会、野毛街づくり会など地域の振興や活動の場として、また、野毛大道芸や野毛山節等地域の伝統文化・芸能の活動の場、あるいは、相互交流の場として、再発展の過渡期にある野毛地区の中心的な施設であるとの認識の基に地域ニーズにあった管理運営をしていきます。

イ. 野毛地区センターは中区と連携した高齢者向けの事業、子育て支援事業や地域に密着した講師等による各種自主事業、あるいは生涯学習・スポーツなど様々な団体のサークル活動であらゆる階層の地域住民にとって、なくてはならない身近な存在となっています。

ロビーは、おもちゃで遊ぶ幼児から、ゲームをしたり本を読む小中学生、勉強に来る高校生、女性の団欒や、囲碁・将棋を楽しむ人たち等、世代を超えて幅広い人達の交流の場となっています。

ウ. 野毛地区センターは最近、団体利用者が増加して会議室等が予約できずにいる方が増えてきています。近隣のにぎわい座等と連携し、会議室等の空き情報を利用者に提供するなど、施設相互で協力していきます。

(2) 地域ニーズや利用者ニーズのとりえ方と、運営への反映の方法

- ア. 野毛地区センターでは、幼児からお年寄りまで、誰でも気軽に立ち寄れる場所であり、高齢者、障害のある方も安心して利用できるように、利用者などの委員による「野毛地区センター地域連絡会」の意見を迅速に反映し、より一層の利便性・安全性を確保した施設運営を進めます。
- イ. 日常の利用者からの意見や要望、苦情等への対応については、館内に「おたより箱」を設置し、利用者の要望等の把握に努めるとともに、団体利用者を主な対象とした「利用者会議」を定期的で開催して利用者ニーズを把握、また、自主事業後のアンケートを次の事業に生かすなど、利用者の視点に立って施設の運営に反映させます。

3 施設でのサービスの提供に対する考え方

(1) 19年度におけるサービスの提供に関する基本的な考え方

- イ. 地区センター条例の趣旨に基づき、地域住民が、自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、相互の交流を深める場として、会議室等を、利用要綱を基にして利用していただきます。
- イ. 利用料金の減免、開館時間の変更等、利用者からの要望については、地区センター条例の趣旨に基づいて、区と協議しながら対応してまいります。

(2) 会議室等の利用に関する取扱いについて

- ア. 野毛地区センターを定期的に利用する団体から、特に要望の多い優先利用については利用団体が多く、優先利用を認めると新規の団体が利用できなくなる恐れがあるので、当面の優先利用は、自主事業の意味合いがある野毛ギャラリー参加団体に限定させていただきます。
- イ. 利用者会議でも要望が上り、団体の利用率が高い（約77%）集会室については、18年度まで個人利用としていた土曜日の枠を団体利用に変更し、利用者の要望に応じてまいります。

(3) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

- ア. 地域の活動に参加したい、あるいは趣味を広げて生活環境を向上させたい等の相談などには、当センターの自主事業やなか区民活動センターを紹介するなどして、積極的に支援してきます。
- イ. 部屋の貸出しを通じてサークル活動のきっかけ作りを図り、個人情報保護に配慮しながら、当センターや中区内の他の施設で活動している団体の紹介も行なっていきます。

(4) その他のサービス実施に関する計画について

- ア. 中区区民利用施設協会内にサービス検討部会を設け、各施設の特徴を出しながら協会全体として、サービスの向上を目指していきます。
- イ. 野毛地区センターの利用者会議やアンケートでも設置希望が多く出されていた貸しロッカーについては、18ブースを新たに設け、19年度より1年間単位で貸し出すことにし、抽選で利用団体を決定することとします。

4 施設に経営に関する考え方

(1) 施設の効率的な管理運営のための計画について

- ア. 中区区民利用施設協会内に効率管理検討部会を設け、サービスの低下とにならないように配慮しながら、経費の節減に努めて参ります。
- イ. 野毛地区街づくり会との共催など、地域に密着した魅力ある自主事業を企画するとともに、参加者からある程度の費用負担を求め、事業経費の軽減に努めます。

(2) 利用料金の設定について

- ア. 利用時間帯の中で、午後②の時間帯は午前、午後①、夜間の時間帯より利用率が比較的低いので、会議室等の料金を通常料金より20%割引し、割安感を打ち出すことにより、利用率の向上を目指します。
- イ. 利用日当日の会議室等の利用申込みについては通常料金より50%割引し、ロビー等で活動している方々にも気軽に利用出来るようサービスを向上させると同時に利用率の向上を図ります。

5 施設の運営に関する職員体制・情報保持の考え方

(1) 職員の配置及び採用について

- ア. 館長を1名配置します。主任を2名、館に相応しい人材を透明で公正な公募によって配置して、成績評価を前提とした雇用形態とします。職員の勤務形態は利用者の利便性を確保することを第一に、日・祝祭日の勤務、日勤・夜勤などの区分ごとに館の運営が円滑に行なえるように配慮します。
- イ. また、「笑顔・親切・安全」を基本として利用者の立場にたって、施設の運営に積極的に携わってもらおう中区区民利用施設協会のコミュニティスタッフ4名、コミュニティスタッフ美化担当1名を野毛地区センターとして近隣地域より適任者を公募により採用して配置します。

(2) 職員の研修計画について

野毛地区センターは、「利用者の視点に立った管理運営」を目指し、次の研修を行います。

- ア. 業務研修 毎日の業務の中で、その日にあった事例を日誌に記録し、職員、スタッフの職場研修の中で、苦情の対応等、事例に即して効果的な研修を実施します。
- イ. 接遇研修 利用者の好感度の第一は接遇であることを念頭に置き、心地よい快適で良質な接遇、手際の良い適確かつ迅速な対応で安全・安心な施設運営を行います。
- ウ. 人権研修 中区区民利用施設協会で開催する人権研修に全員参加します。
- エ. 個人情報保護研修 個人情報の取り扱い並びに横浜市個人情報の保護に関する条例に基づく罰則の内容及び民事上の責任等について周知徹底します。
- オ. 救急法研修 利用者が怪我をしたり急病になった場合の対応として、職員、スタッフ全員が、応急処置と心得について研修します。

(3) 個人情報の保護の措置について

- ア. 平成17年4月施行の「個人情報保護法」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例第4条」の事業者の責務として、個人情報の取り扱いには充分慎重に対処していきます。
- イ. 中区区民利用施設協会内部に個人情報保護推進委員会をすでに創設し、また、「個人情報保護指針」を制定し、各館に掲示、公表して個人情報の厳正な取り扱いを徹底しています。
- ウ. 野毛地区センターでは、横浜市個人情報の保護に関する条例により、また、個人情報保護指針に基づいて、当センターで独自に個人情報保護研修を行なって、適正・安全な管理により利用者の個人情報を慎重に保護しています。

6 緊急時対策について

(1) 防犯、防災の対応について

- ア. 中区区民利用施設協会では、緊急対策のマニュアルを作成し、いったん緊急事態が発生したときは、可及的速やかに対応することを徹底します。
- イ. 野毛地区センターでは、年に2回以上実施している職場研修の中で、消防計画を基に組織した自衛消防隊で、利用者の避難誘導を最優先に防犯、防災、避難訓練を実施し、緊急時に備えています。
- ウ. また、ちえるる野毛の複合施設全体で行なう消防訓練に自衛消防隊の一員として積極的に参加し、避難経路の再検討等を行なって利用者の安全を確保することにしていきます。

(2) その他。緊急時の対応について

- ア. 事件・事故等不測の災害等においても、警察、消防、行政関係及び地元関係者等への連絡網を平日、休日に分け事務室に掲示して緊急時に対応しているほか、閉館時にも2～3分で近隣のスタッフが参集できる体制をとっています。
- イ. また、近隣の災害等に関しても、公の施設としての責務を認識して、応援や避難先としての施設の開放を積極的に行なっていきます。不測の事態に対処するため、緊急医薬品や毛布を当センターにストックします。
- ウ. 野毛地区センターは災害対策本部支援施設、ボランティア活動拠点及び在宅要援護者等の特別避難場所として位置づけられていることから、区と協議して施設の活用を図ります。

7 その他

横浜市野毛地区センター利用要綱を平成19年4月1日付で改定したいので添付します。

平成19年3月2日

平成19年度 横浜市野毛地区センター 収支予算書

収入の部

項目	金額(円)	備考
指定管理料	32,438,000	収入内訳1のとおり
利用料金	2,997,000	収入内訳2のとおり
その他事業収入	150,000	自動販売機収入等
小計(A)	35,585,000	

支出の部

項目	金額(円)	備考
人件費	18,863,000	支出内訳1のとおり
事務費	973,000	支出内訳2のとおり
事業費	500,000	支出内訳3のとおり
管理費	11,984,000	支出内訳4のとおり
二一ズ対応費	999,000	
事務経費	1,232,000	
公租公課	900,000	消費税相当分
利用料金補正額	134,000	
小計(B)	35,585,000	

差し引き

(A) - (B)	0	
-----------	---	--

収入内訳1 指定管理料内訳

項目	金額(円)
人件費	18,863,000
事務費	973,000
事業費	500,000
管理費	11,984,000
ニーズ対応費	999,000
事務経費	1,232,000
公租公課	900,000
利用料金収入	-2,997,000
その他収入(自販機等)	-150,000
利用料金補正額	134,000
計	32,438,000

収入内訳2 利用料金収入見込

部屋名(面積㎡)		年間コマ数	減率	稼働率	単価(円)	利用料金収入(円)	利用料金見込み(円)
会議室	48.1	1,324	0.9	68.4%	660	537,240	合計金額の10%増
和室和	82.8	1,324	0.9	33.4%	570	226,290	
和室茶		1,324	0.9	28.6%	570	193,800	
工芸室	51.2	1,324	0.9	55.7%	720	477,360	
料理室	50.0	1,954	0.9	14.0%	540	132,840	
集会室P	159.8	1,098	0.9	54.4%	1,110	596,070	
集会室他		1,098	0.9	51.2%	1,110	560,550	
合計						2,724,150	2,996,500
改め							2,997,000

支出内訳1 人件費

野毛地区センター

項目	金額	備考
職員給与(館長)	4,238,000	@258,400×16.4月
職員給与(指導員)	6,331,000	@193,000×16.4月×2名
職員社会保険料等	1,530,000	健康保険料、健康診断、厚生年金、児童手当拠出金、雇用保険料、労災保険料
通勤費	359,000	(館長)@11,950×12月 (指導員)@26,930×年4回×2名
スタッフ賃金(通常)	5,337,000	(午前)@840×4時間×345日×1名 (午後)@840×4時間×345日×1名 (夜間)@890×4時間×280日×2名 (作業担当)@990×3時間×345日×1名
スタッフ賃金(休暇対応)	418,000	(午前)@840×4時間×7.5日×2名 (午後)@840×4時間×7.5日×2名 (夜間)@890×4時間×5.5日×4名 (作業担当)@990×3時間×8.5日×2名 (繁忙期予備・その他)189,000
スタッフ社会保険料等	111,000	健康診断(@8,200)、労災保険料
スタッフ交通費	539,000	@26,930×年4回×5名
計	18,863,000	

支出内訳2 事務費

項目	金額	備考
旅費	42,000	
消耗品費	217,000	
会議賄費	10,000	
印刷製本費	48,000	
通信費	180,000	
使用料及び賃借料	45,000	
備品購入費	88,000	
施設賠償責任保険	39,000	
廃棄物処理費	103,000	ルート回収に伴う処分費
手数料	201,000	
計	973,000	

支出内訳3 事業費

項目	金額	備考
自主事業費	400,000	
ワンパクホリデー事業費	100,000	
計	500,000	

支出内訳4 管理費

項目	金額	備考
光熱水費	1,806,000	
清掃費	500,000	
修繕費	350,000	
冷暖房保守費	650,000	
電気設備保守費	41,000	
その他保全費	450,000	
共益費	8,187,000	
計	11,984,000	

平成19年度 自主事業計画書

<新規事業>

施設名：野毛地区センター

募集対象	事業名 (教室名)	開催日	回数	参加人員		自主事業経費			1人当たり 参加費		講師謝金		共催先 ねらい・新規理由 PR方法
				募集 人数	延べ 参加 人数	委託料 支出総 額 円	参加者 負担総 額 円	総経費 円	徴収	参加費用 円	1回1講 師 当たり 円	1教室 講師謝 金額 円	
一般	アカペラでスイング!	7月、11月	6	30	180	60,000	0	60,000	有	2,000	10,000	30,000	自分の声が楽器になる空間を楽しみ発見して音に親しむ。
一般	Beauty ヨガをはじめよう	4月～5月	5	20	100	25,000		25,000	有	1,000	5,000	25,000	夏を迎える前に気持ちのよい体づくり。
一般	大人の空手教室	9月～10月	5	20	100	25,000		30,000	有	500	5,000	25,000	礼に始まり礼に終わる。空手で心身ともに鍛える。
一般	バンブーダンスを踊ろう	12月～1月	5	15	75	10,000	15,000	25,000	有	1,000	5,000	25,000	アジアの踊りを体験してもらう。
一般	プリザーブドフラワーでかわいいオーナメント	12月	1	18	18	5,000		5,000	有	1,500	5,000	5,000	手作りの楽しみを提供
一般	家庭でつくれる四季の和菓子	4月～3月	4	18	72	20,000		20,000	有	500	5,000	5,000	和菓子職人による家庭で作れる方法を直接学ぶ。日本の伝統を間近に体験できる。
一般	マクロビオテック	1月～3月	3	18	54	15,000	0	15,000	有	500	5,000	15,000	からだにやさしい食を考えながらお料理を学ぶ。生活習慣を見直すチャンス。
小学生～一般	絵本の読み聞かせ	4月～3月	7	18	126			7,000	無		1,000	1,000	キッズサークルのお料理を始める前にアリスのメンバーによる読み聞かせの楽しい時間を過ごす。
	野毛キッズサークル	4月～3月			0				無				
小学生～中学生	料理教室	6月、8月、9月、11月、12月、1月、3月	7	18	126			49,000	有	500	7,000	7,000	メリーポピンズによるお料理教室。
小学生～中学生	野毛山動物園	10月、2月	2	18	36			0	有	200	0	0	野毛山動物園の協力により動物たちを見学するだけでなく、詳しく教えてもらう。
小学生～中学生	工作教室	4月、5月、7月	3	18	54			15,000	有	500	5,000	5,000	ものづくりを楽しむ。
未就学児と母親	(仮)くれよん学級	5月～3月	10	30	300	50,000		50,000	有	1,000	5,000	5,000	未就学児を持つ母親向けの講座。ストレス解消などで応援する。くれよんの協力。
小学生と親	(仮)おもちゃの不思議発見	4月～3月	2	18	36	10,000		10,000	有	500	5,000	10,000	家庭に眠っているおもちゃに光をあてる。おもちゃの不思議を「おもちゃのドクター」といっしょに解明していく企画。
一般	京劇を中国語で	1月～2月	5	15	75	20,000	15,000	35,000	有	2,500	7,000	35,000	興味のあるものから親しんで外国語になじむきっかけを作る。
一般	イタリア語講座		5	20	100	25,000		25,000	有	2,000	5,000	25,000	意外と簡単なイタリア語を身近にとらえる語学講座。
一般	色鉛筆で風景画を描いてみよう	2月～3月	5	15	75	20,000	5,000	25,000	有	1,500	5,000	25,000	絵の具を使わずに手軽に絵を描く。
	パソコン活用塾	6月～3月			0				無				
一般	インターネット	9月	4	16	64	40,000		40,000	有	2,500	5,000	20,000	18年度から始まった講座。受講者からリクエストの多かったインターネット、画像処理を計画。自主事業の予算が足りない為、最終回とその前は講師の好意により謝金無しで行えることになった。
一般	画像処理	6月	3	16	48	30,000		30,000	有	2,500	5,000	15,000	
一般	仕事で使えるExcel Part2	10月	5	8	40	25,000		25,000	有	4,000	5,000	25,000	
一般	Word	2月、3月	2	16	32	0		0	有	2,500	0	0	
一般	(共)キャリアコンサルタント研究	7月～2月	4	10	40	0	0	0	有	500	0	0	地域の方たちの悩み相談事に対応する。

小学生 ～おとな	おひなさまを折ってみよう	2月	1	20	20	10,000		10,000	有	500	10,000	10,000	折り紙でおひなさまを折って季節の行事を楽しむ企画。
	中区区政80周年記念事業 野毛の街を学ぶ	5月～11月			0				無				
一般	開港前の吉田新田と野毛	5月	3	30	90	ニーズ 対応費		40,000	有	500	10,000	40,000	野毛の街興し。街の歴史を学ぶことにより愛着をもってもらい、活性化を図るねらい。2年の長期スパンで計画。 共催:野毛地区街づくり会 協力:のげさんぽ
一般	開港から橋と川	6月	3	30	90	ニーズ 対応費		40,000	有	500	10,000	40,000	
一般	野毛三山を歩く	9月～10月	3	30	90	ニーズ 対応費		40,000	有	500	10,000	40,000	
一般	路地裏を見る	11月	2	30	60	ニーズ 対応費		40,000	有	500	10,000	40,000	
一般	中区区政80周年記念事業 野毛地区センターまつり	10月	1	200	200	ニーズ 対応費		100,000	無	0		100,000	日頃野毛地区センターを利用されている方への還元、及び、たくさんの人に知ってもらおうのお祭り。 共催:野毛地区街づくり会
一般	中区区政80周年記念事業 クリスマスコンサート	12月	1	100	100	ニーズ 対応費		80,000	無	0	60,000	60,000	生の迫力あるコンサートを間近に楽しむクリスマスのシーズンイベント。 共催:野毛地区街づくり会
子供～ 一般	中区区政80周年記念事業 新年書初め大会	1月	1	50	50	ニーズ 対応費		25,000	無	0	15,000	15,000	年はじめに一年の目標を書初めでこころを鎮めて書いてもらう企画。
合計			108	865	2,451	390,000	35,000	866,000	—	—	—	648,000	

※共催先・ねらい・新規理由は具体的にご記入ください。

<継続事業>

施設名:野毛地区センター

募集対象	事業名 (教室名)	開催日	回数	参加人員		自主事業経費			1人当たり 参加費		講師謝金		共催先 ねらい・新規理由 PR方法
				募集 人数 人	延べ 参加 人数 人	委託料 支出総 額 円	参加者 負担総 額 円	総経費 円	徴収	参加費用 円	1回1講 師 当たり 円	1教室 講師謝 金額 円	
団体	野毛ギャラリー	4～3月	12	15団 体		10,000		10,000	無	0	0	0	ねらい:利用団体支援(作品発表の場提供)ギャラリー会議年1回(利用団体会議としても機能)支出予定は会議の茶菓子と新規参加団体用のマグネット表示板作成
個人	パーソナルギャラリー	4～3月		希望 者に 合わせ 調整		0		0	無	0			ねらい:個人作品発表の場提供 申し出があれば、展示スペースの空き状況をみながら受け付ける PR方法:館内掲示
子ども～ 大人	野毛紙芝居	4～3月	15			15,000		15,000	無	0	1,000	1,000	ねらい:生のステージを子ども達に定期的に体験 ただし、演者滝之助が多忙になり月1回程度の上演となっている。土曜の午後子どもたちの楽しみとなっている @1000×15回分として予算計上してみた
一般	(共) ヨコハマ遊学校	4～3月	9	100	900	0		0	有	@500	0	0	共催:ヨコハマの会(文化人団体) ねらい:文化人の講演を身近に提供
子ども	おもちゃの病院	6～2月	4	20	80	12,000		12,000	無	0	3,000	3,000	共催:中区おもちゃのドクターネットワーク ねらい:おもちゃの修理を通して物の大切さを実感させる クリスマスシーズンに修理の問い合わせが多かったため 昨年度より1回多くお願いした *傷害保険加入
第一北部地区 単身高 齢者	(共) ふれあい給食	4～3月	8		0	0		0	無	0		0	共催:第一北部地区社協 *施設提供、ごみ処理協力。 地域協力事業。PR:特にしなない

一般	(共) 音楽と落語の宅配便 Part.3	4~2月	6	50	300	0	0	有	500	0	0	共催:野毛志隆の会 平成17年度「フォー クソングと落語」後グ ループ
一般	(共)「童謡・唱歌を歌う」フォー ラム イン 野毛	3月	1	100	100	20,000	20,000	有	500	20,000	20,000	ねらい:グループ育 成と支援。創立20周 年記念自主事業の 後グループ「のげとも 童謡会」との共催事 業。近隣の童謡、唱 歌の合唱団体との交 流コンサートを参加 者とともに楽しむス テージを展開。
一般	手造りのお味噌づくり体験	2月	2	10	20	0	0	有	2,100	3,000	3,000	人気のある自家製味 噌作り。年中行事の ようになり、皆さんの 家庭の健康を支える ためにも必要となっ ている。
一般	七夕に願い事をしよう	7月	1	100	100	5,000	5,000	無	0			笹の葉に願い事を書 いた短冊を結びつけ て七夕を楽しむ事 業。
予備費						48,000						チラシ作成の為の消 耗品、その他
合計			58	380	1,500	110,000	0	62,000	-	-	-	27,000

※共催先・ねらい・新規理由は具体的にご記入ください。

総合計 500,000

自主事業計画書（内訳）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
中区区政80周年記念事業 野毛の街を学ぶ	①開港前の吉田新田と野毛 ②開港から橋と川 ③野毛三山を歩く ④路地裏を見る 野毛の街輿し。街の歴史を4回の講座に分けてまなぶことにより、愛着をもってもらい、活性化を計るねらい。2年の長期スパンで計画。 共催：野毛地区街づくり会 協力：のげさんぽ	5月～11月・11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野毛キッズサークル	①料理教室 ②野毛山動物園 ③手造り工芸教室 土曜日の午前中、月1回のペースで子供たちを対象にお料理実習をしたり、野毛山動物園の協力により詳しく教えてもらい、一般では見れない場所を見学したり、工作など手作りの楽しさを発見してもらい、人気の事業。	4月～3月・12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
井戸端交流コンサート イン野毛	創立20周年記念自主事業の後グループ「のげとも童唱会」との共催事業により、近隣の童謡、唱歌を歌う合唱団体との交流コンサート。参加者とともにワイワイガヤガヤ楽しく歌うステージをつくる。グループ育成と支援がねらい。	3月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコン活用塾	①インターネット ②画像処理 ③仕事で使えるExcel Part 2 ④Word ひとりに1台以上保有している現代のニーズに答える目的。受講者からリクエストの多かった内容を計画。自主事業費の予算が足りない為、最終回とその前は講師の好意により、謝金無しで行えることになった。	6月～3月・14回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中区区政80周年記念事業 新年書初め大会	年の初めに一年の目標を書初めでこころを鎮めて書いてもらう企画。お正月にふさわしい気持ちになり身も引き締まる。	1月・1回

--	--	--

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中区区政80周年記念事業 野毛地区センターまつり	日頃野毛地区センターを利用されている方への還元、及び、たくさんの人に周知をしてもらう目的のお祭り。 共催：野毛地区街づくり会・にぎわい座	10月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中区区政80周年記念事業 クリスマスコンサート	プロのメンバーによる生の迫力あるステージを楽しんでもらうクリスマスのシーズンイベント。家族、ご夫婦、仲の良い友達同士で夢のひとつときを過ごしてもらう。	12月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野毛ギャラリー	利用団体支援（作品発表の場を提供）を目的としている。原則として1ヶ月毎に利用団体が交互に作品を壁面、ショーケースを利用して発表。	4月～3月・12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野毛紙芝居	生の紙芝居をゲリラ的に行い、土曜の午後の子供たちの楽しみとなっている。環境に関するものから演者滝之助のオリジナル紙芝居までおもしろく、子供たちだけでなく大人も足を止めていっしょに楽しめる内容。	4月～3月・15回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい給食	第1北部地区単身高齢者向けの給食サービス。地域協力事業。本町小学校の生徒が毎回来て歌を歌ったり楽器を演奏し、お年寄りと一緒にお話をする内容。 共催：第一北部地区社協	4月～3月・8回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
アカペラでスイング！	自分の声を楽器になる空間を楽しみ発見して音に親しむ。発声方法から学ぶ。楽譜の読めない人でも歌うことのできる方法も学ぶ。声を出すことにより体中の運動にもなる健康法でもある。	7月、11月・6回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
Beauty ヨガをはじめよう	いろいろなヨガが流行っている中、基本をしっかりと学びながら、体の中からきれいになる健康づくり。本場でしっかりと学んできた講師に依頼。	4月～5月・5回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の空手教室	大人対象。礼に始まり礼に終わる空手で心身ともに鍛える目的。子供の空手を指導してくださっている横浜市空手連盟会長に指導をお願いした。	9月～10月・5回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
家庭でつくれる四季の和菓子	和菓子職人による家庭でも作れる方法を直接教えてもらえる。日本の伝統を改めて身近に体験できる。	4月～3月・4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くれよん学級	未就学児を持つ母親応援の講座。ストレス解消や子供とのかわり方を一緒に勉強していく。昨年度まで中なか大学の助成金で活動していた「くれよん」の協力。	5月～3月・10回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃの不思議発見	家庭に眠っているおもちゃに光を当てる。おもちゃの構造を一緒に解明したり、不思議を親子で一緒に発見する目的。ものの大切さも学ぶ。中区おもちゃのドクターネットワークの協力。	7月、3月・2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
イタリア語講座	意外と簡単なイタリア語を身近にとらえる語学講座。海外の文化を学び発見をする。初歩からじっくりと学んでいく。	2月～3月・5回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヨコハマ遊学校	著名な文化人の講演を身近に聴くことの出来る講座。毎回奥の深い面白く為になる話を聞ける。 共催：ヨコハマの会	4月～3月・9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃの病院	使い捨ての時代になっているが、おもちゃの修理を通して物の大切さを伝える。 共催：中区おもちゃのドクターネットワーク	6月～2月・4回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽と落語の宅配便 Part.3	「フォークソングと落語」の後グループとして野毛志隆の会が立ち上がり、共催となった。童謡を歌って落語で笑ってリラックス効果が大きい。	4月～2月・6回

※ 欄が足りない場合は、適宜追加してください。